

サマーカンファレンス

サマーカンファレンス 2006 伊豆

日時：2006 年 9 月 3 日～5 日

会場：貸別荘・ねぎぼうず村（静岡県伊豆市）

宿泊：同上

企画テーマ：「文化と動機づけ」

9 月 3 日(日) セッション 1 (16:00-18:00)

セッション 1	日本福祉教育専門学校	寺澤美彦	創造性の日中比較 1. 創造性と動機づけ 2. 創造性の日中比較 3. チクセントミハイの理論
---------	------------	------	--

9 月 4 日(月) セッション 2 (10:00-12:00)

セッション 2 東京外国語大学

セッション 3 (14:00-18:00)

田島信元 講演：「比較文化研究からの動機づけ心理学への期待」

セッション 3

清泉女学院大学

高崎文子

「努力」の記述から読み取る動機づけの日中比較

佐柳信夫

青山学院大学

塚原拓馬

無力感と文化

東京女子大学

大家まゆみ

小学校の文化から中学校の文化への移行期における
理数科の動機づけの変容

同志社大学

田中あゆみ

失敗時の動機づけの日米比較

日本教育大学院大学

黒石憲洋

指定討論

東京外国語大学

田島信元

9 月 5 日(火) セッション 4 (10:00-12:00)

セッション 4

同志社大学

山内弘継

京都の文化

学会大会企画

日本発達心理学会 第 18 回大会（3 月 24 日～26 日 於大宮ソニックシティ）

文化と動機づけ

企画：日本発達心理学会 Social Motivation 研究分科会

司会：寺澤 美彦（日本福祉教育専門学校）

話題提供者：寺澤 美彦（日本福祉教育専門学校）

高崎 文子（清泉女学院大学）

塚原 拓馬（青山学院大学）

藤江 康彦（関西大学）

田中あゆみ（同志社大学）

指定討論者：黒石 憲洋（日本教育大学院大学）

動機づけ研究会

活動日	形式	内容	担当者
2006 年 4 月 22 日	研究発表	「手をつなぐことに対する認知とその規定因」	川島千佳
5 月 20 日	研究発表	「小学生の勉強行動における行動統制、コンピタンスおよび自律性の関係」	佐柳信男
6 月 17 日		出版予定の書籍についての検討	青柳肇ら
7 月 15 日	研究発表	「学習性無力感における PCSC モデルの研究」 (1) 大学生は、どのような体験に統制可能性を感じているか (2) 二次的コントロールの概要とモデルの提起	塚原拓馬
(8 月)		(8 月はサマーカンファレンス開催のため休会)	
9 月 30 日	研究発表	「授業方法の違いが「やる気」とその理由におよぼす影響」	名取洋典
10 月 28 日	研究発表	「学校教育場面における言語的フィードバック研究」	滝本祥子
11 月 25 日	研究発表	「中学 1 年生の 4 月における英語学習に対する意欲はどうすれば維持できるか」	神原知愛

	12月23日	研究発表	「教師の行動の受け取り方と個人差・教科興味の関係」	堀口博行
2007年	1月13日	研究発表	「自己制御における意識と無意識：自動性から効果的な目標遂行を考える」	及川昌典
	2月10日	研究発表	「PCSC尺度作成と信頼性妥当性の検討」 (補)大学生はどのような体験に統制不可能性を感じているか	塚原拓馬
	(3月)		(3月はソーシャル・モチベーション研究会総会開催のため休会)	

理事会

開催日：2006年9月4日（月）、2007年3月24日（土）

議 題：2007年度サマーカンファレンス開催地および内容について
 動機づけ関連書籍の刊行について
 2006年度発達心理学会大会企画の内容について 等